

あなたも

田んぼの活動を支える人

「田んぼ市民」になって、

私たちと一緒に、

生きもの調査に参加しながら

「ごはん茶碗一杯」、「おにぎり一つ」

の中から見えてくる

『田んぼの恵み』を実感しましょう♪

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター

【 1. 田んぼ市民になりましょう♪ 】

私たちは、毎日ご飯を食べています。家での食事に限らず、飲食店やお弁当、コンビニエンスストアのおにぎりのお米を食べています。

普段食べているお米が、どこの地域で、どんな風景の中で、どんな人が、どのように作っているかを思い浮かべながら食べている人は、きっと少ないでしょう。あなた自身はどうですか？ 食事の前に「いただきます！」、食べ終わったら「ごちそうさま！」と食べていますか？

お米は田んぼで作られています。地域によってはお米を作る農家の高齢化が進み、年々お米を作る方が減り、お米をつくる場所である田んぼが減ってきています。さらに、田んぼでは、カエルやトンボ、ドジョウ、ホタルをはじめ様々な生きものが見られる場所でもあります。人にも環境に優しいお米作りをしている農家の田んぼは、いろいろな生きものを育み、生物多様性の豊かな環境を創出しています。

生物多様性豊かな田んぼを目指し、お米作りに取り組んでいる農家、そしてその地域の環境を支えるために行うのが「田んぼ市民」による田んぼ市民運動です。

【 2. 田んぼ市民運動に重要な3つのキーワード♪ 】

「田んぼ市民」は、生産者や消費者、老若男女を問わずなることができます。そして、田んぼ市民になった方が、それぞれの思いにより「田んぼ市民運動」を行うことができます。田んぼ市民運動の柱となるのが、「生きもの調査」「生きもの認証」「田んぼ支払い」です。その仕組みや内容を知ってもらうことが「田んぼ市民運動」の第一歩となります。

(1) 生きもの調査

田んぼや水路で見られる生きもの（動物・植物）を、実際に見たり、手にとって観察したり、数をカウントしたりしながら、イネと一緒に生活している生きものを調べます。調査の方法により、大人から子どもまで、誰もが参加できる内容となっています。「生きもの調査」に参加することで、田んぼの多面的な価値と持続可能な田んぼの利用方法が見えてきます。

(2) 生きもの認証

「田んぼ市民」である生産者（個人及びグループ）が主体となり、地域での生きもの調査の取り組みに対して、計画書や報告書の提出により「生きもの認証」を行っています。「生きもの認証」を申請登録している生産者（個人・グループ）のお米は、「生きもの認証米」というラベルを付けることができます。

(3) 田んぼ支払い

「生きもの認証」を申請登録している、生産者（個人・グループ）の田んぼ市民運動の活動が、「田んぼ支払い」の対象となります。

「田んぼ支払い」は、活動支援金として「生きもの認証米」などの、お米の価格とは別に直接的な寄付として行い、地域の生きもの調査に係る様々な活動の資金となります。

【 3. 田んぼ市民には、このような役割があります♪ 】

【 お米をつくっている生産者の方へ 】

- ◆ 私たちは、古くから「米」を主食として暮らしてきました。ため池や水路を作り、土を固めて畦（あぜ）で囲い、田んぼに水を張り、お米づくりをしてきました。季節など自然のバランスを活かして行われてきた農業や田園環境（里山）、カエルやトンボ、ドジョウ、メダカ、ホタルなど様々な生きものにとっても生活しやすい環境でした。
- ◆ 農薬や除草剤の使用は、生産者自らの健康を害するだけでなく、身近な動植物にも様々な影響を与えています。コンクリートの水路や、草花が数種類しか見られない畦は、私たちの身近な存在だった生きものにとっても、生活しにくい環境になっています。
- ◆ 自分の田んぼには、どんな生きものが何種類くらいいるかご存知ですか？田んぼの土を作り耕している小さな生きものに目を向け、数をカウントしたことはありますか？
私たちと一緒に「農業」と「生きもの」の関わりを知り、生物多様性の豊かな田んぼの活動をはじめましょう。

【 お米を食べている消費者の方へ 】

- ◆ 私たちが普段食べているお米。ご飯茶碗一杯分のお米、おにぎり一つ分のお米が、どこで、どのように作られたのか、その田んぼの風景を思い浮かべることができますか？
- ◆ 田植えや草取り、稲刈りなど、田んぼの作業を体験する人が年々増えています。しかし、生産者は、私たちの食べるお米を一年かけて大事に育ててくれています。
- ◆ 「生きもの調査」を生産者の方と一緒にすることで、お米だけでなく、作っている生産者の思い、田んぼの景色、そこで生活している様々な生きものとも触れ合うことができます。
私たちと一緒に「田んぼの恵み」を実感しにいきましょう。

【 お米に係る仕事をしている方へ 】

- ◆ 環境に優しく、生物多様性の豊かな田んぼの活動をしている生産者が年々増えてきています。しかし、このような取り組みをしている生産者のお米を購入したり、食べたりする方は、まだ一部でしかありません。一般の消費者が、気軽に購入できるようなスタイルに変えていくことが重要です。
- ◆ 「田んぼ市民運動」の生産者と消費者だけでなく、それをつなぐ米穀店や飲食店など、お米に係る仕事をしている人たちの協力も当然必要となります。
- ◆ 「生きもの認証米」の販売や、食材・商品として利用していただき、生産者の取り組みについて、お店などで紹介し、一人でも多くの「田んぼ市民」を増やしてもらいたいと思います。
私たちと一緒に、「お米」から田んぼや地域の見える活動の輪をつなげていきましょう。

【 親子で参加したい方、団体やグループで参加したい方へ 】

- ◆ 田んぼ市民は、運営のために維持管理費として年会費（2,500円）をいただくことになり、対象者は18歳以上としています。しかし、親子でも参加したいという声も多いことから、親子で参加できるよう、新たに「田んぼ子どもくらぶ」を設けました。
- ◆ 「田んぼ子どもくらぶ」は、田んぼに入って田植えや草取り、生きもの調査などに参加できるよう、5歳以上を対象としています。
（申請すると、田んぼ子どもくらぶカードを発行します）
- ◆ 幼稚園・保育園・小学校など、地域活動や食農教育の一環として「生きもの調査」を行う場合は、団体やグループでまとめて「田んぼ子どもくらぶ」の申込みができます。
（個人：無料、グループ・団体：1人1,000円）

田んぼ市民 申込書

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター 理事長 殿

私は、田んぼ市民運動に賛同し、田んぼ市民として登録いたします。

ふりがな		
お名前	(性別： 男性 ・ 女性) 年齢： 歳	
連絡先	〒 Tel : Fax : E-mail :	
パソコンの 有無	PC 環境 (Win ・ Mac)	Word (有・無) Excel (有・無)

この用紙にご記入いただき、当センター (BASC) まで郵送または FAX、メールにてお送り下さい。また、お手数ですが下記銀行口座に田んぼ市民の会費の振込みをお願い致します。田んぼ市民の会費は、おひとり様年間 2,520 円 (月額 210 円) となります。会費入金を確認しましたら、「田んぼ市民カード」をお送り致します。

※ 既に BASC の個人会員になられている方は、田んぼ市民としての新規入会の手続きは必要ありません。親子での登録や、友人・知人同士などグループで申込み希望の場合は、専用の申込用紙がございますので、そちらをご利用下さい。

田んぼ市民会費 振込先
埼玉りそな銀行 狭山支店 普通 5823149 特定非営利活動法人生物多様性農業支援センター
Email : tambo@basc.jp

〒350-1323 埼玉県狭山市鶴ノ木 16-46-103 FAX04-2941-5213 TEL04-2941-5212

(田んぼ子どもくらぶ申込書・親子用)

申請日：令和 年 月 日

田んぼ子どもくらぶ 申込書

特定非営利活動法人

生物多様性農業支援センター 理事長 殿

私たちは、特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センターの田んぼ市民運動に賛同し、子どもたちを「田んぼ子どもくらぶ」に入会します。

(ふりがな) 保護者名	(性別： 男性 ・ 女性) 年齢： 歳	BASC 会員	<input type="checkbox"/> BASC 会員 <input type="checkbox"/> 田んぼ市民 No.
連絡先 (住所)	〒		
Tel :		Fax :	
E-mail :	PC 環境 (Win ・ Mac)	Word (有 ・ 無) Excel (有 ・ 無)	

既に BASC の個人会員になられている方は、田んぼ市民としての新規入会の手続きは必要ありませんが、市民グループとしての登録が必要となります。また、既に田んぼ市民として登録されている場合は、名前と番号のみ記入してください。

田んぼ子どもくらぶ名簿 (子どもたちの名前を記入して下さい)

No.	名前 (ふりがな)	連絡先 (上記の同じ場合は不要)	続柄.
1	(性別：男 ・ 女) 年齢： 才	〒 Tel :	<input type="checkbox"/> 家族・親類 <input type="checkbox"/> その他.
2	(性別：男 ・ 女) 年齢： 才	〒 Tel :	<input type="checkbox"/> 家族・親類 <input type="checkbox"/> その他.
3	(性別：男 ・ 女) 年齢： 才	〒 Tel :	<input type="checkbox"/> 家族・親類 <input type="checkbox"/> その他
4	(性別：男 ・ 女) 年齢： 才	〒 Tel :	<input type="checkbox"/> 家族・親類 <input type="checkbox"/> その他
5	(性別：男 ・ 女) 年齢： 才	〒 Tel :	<input type="checkbox"/> 家族・親類 <input type="checkbox"/> その他.

(様式1：グループ一括申込書)

申請日：令和 年 月 日

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター 理事長 殿

私たちは、特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センター（略称 **BASC**）の田んぼ市民運動に賛同し、以下のメンバーが一括して「田んぼ市民」に入会を申し込みます。

グループ名			
(ふりがな) 代表者名	(性別：男・女) 年齢： 才	(ふりがな) 担当者名	(性別：男・女) 年齢： 才
連絡先(住所)	〒		
Tel :	Fax :		
E-mail :	PC 環境 (Win / Mac)	Word (有・無)	Excel (有・無)

既に **BASC** の個人会員になられている方は、田んぼ市民としての新規入会の手続きは必要ありませんが、市民グループとしての登録が必要となります。また、既に田んぼ市民として登録され、さらにグループのメンバーになれる方も、下記の名簿にご記入ください (**BASC** 会員及び田んぼ市民の方は、田んぼ市民カードに記載してあります番号を記入してください)。

グループ名簿 (代表者を含め全員の名前を記入して下さい)

No.	名前 (ふりがな)	連絡先	BASC 会員.
1	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
2	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
3	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
4	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
5	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター
〒350-1323 埼玉県狭山市鵜ノ木 16-46
石川マンション 103
Tel : 042-941-5212
Fax : 042-941-5213
E-mail : tambo@basc.jp
URL : <http://basc.jp/>

